

政策分野	004	産業	政策項目	002	商工業	施策	001	商工業の振興	担当課	商工観光課・賑わい推進グループ
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
100	賑わいにあふれ魅力ある商店街づくりを推進します。							充実	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I 新規出店等に係る相談 (単位: 件)	7	5	5	5	6	7		140%	I 新規開店に伴う空き店舗照会及び補助金相談等の件数 (年5件×8年)
	II 商店街地域カードの発行 (単位: 件)	2,862	5,000	5,000	2,271	2,255	10,537		211%	II 商店街地域カードの所持者数 (前・後期の最終年度)
成果指標	I 商店街での新規開業 (単位: 件)	5	1	1	2	0	2		200%	I 商店街での新規開業件数 (年1件×8年)
	II 商店街への来訪割合 (単位: %)	18.3	20.0	20.0	0	0	0		0%	II 週1回以上、商店街を訪れる方の割合 (前・後期の最終年度)

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	第2期商店街活性化アクションプランに基づき、商店街地域カードのリニューアルや子育て応援事業、まちの駅栗夢プラザの運営など、商店街振興に繋がる取り組みを支援した。 ○商店街デジタル化推進事業 (商店街地域カード電子化支援事業、行政ポイント事業) ○子育て応援事業 ○商店街振興対策事業 (8事業) ○空き地空き店舗活用支援事業 (2件認定)
施策の分析 (目標達成・未達成に関する要因分析)	新規出店に係る相談及び新規開業件数ともに、目標達成に至っている。商店街地域カードの発行においても、国の経済対策事業を活用し、全町民に配付することができ、大幅に目標を達成することができた。
課題・問題点	商店街イベントの開催による賑わい創出や各個店による顧客サービスの向上などに努めているが、近年続く燃料価額の上昇や物価高騰の影響、加えて後継者不足などによる廃業が増加傾向にあり、厳しい個店経営を強いられている状況にある。今後も空き店舗対策の取り組みを重点に置き、展開していく必要がある。

今後の展開・方向性 (国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等)	第2期アクションプランの継続実施に加え、現在の社会・経済情勢等を踏まえた、地域に活気を取り戻す商店街活性化施策を、商店街、商工会議所、町が連携し展開していくことで、事業者の事業意欲の向上や事業実施に対する機運を高めていく必要がある。さらに、観光業や農業など他産業との連携を深め、地域一体となったまちの活性化に取り組み、商業振興の底上げを図る必要がある。
--	--

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 (担当課長)	①計画通りに進める アクションプランに掲げる各施策の実施にあたり、これまでの検証・分析を踏まえ、効果的に事業を推進していくとともに、町内関係機関と連携した取り組みを展開していくことにより、相互の波及効果を高め商店街の賑わいづくりに努めること。
2次評価 (副町長)	③改善を検討 (事業内容) 一次評価に加え、商店街振興対策事業については、来年度に向けて一部見直しが必要となっていることから改善を図ること。 商店街デジタル化については、カード会とも連携を図りながら利用・加盟促進を図るとともに、行政ポイントの効果的な運用を推進すること。
外部評価	※評価対象外
最終評価 (町長)	③改善を検討 (事業内容) 二次評価結果に加え、商店街デジタル化に関する行政ポイントについては、公共施設利用に対する付与方法の検討を進めること。

政策分野	004	産業	政策項目	002	商工業	施策	001	商工業の振興	担当課	商工観光課・労働グループ
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
101	町内商工業者の経営安定・改善、新規創業者を支援します。							継続	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I 振興資金制度利用件数（単位：件）	146	150	150	125	117	126		84%	I 栗山町中小企業振興資金：中小企業、商店の設備や経営の安定化への融資利用件数
	II セミナー開催回数（単位：回）	0	4	4	3	2	1		25%	II 中小企業相談関係セミナーで、中小企業者等のニーズを把握する
成果指標	I 融資実行額（単位：千円）	460,602	450,000	450,000	389,509	720,990	513,106		114%	I 融資実績
	II セミナー参加人数（単位：人）	10	20	20	30	22	13		65%	II セミナー参加実績

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	事業者の設備投資や安定した事業運営を支援するため、栗山町中小企業振興資金の貸付を実施した。また、金融や税務、労働等に関する事業者からの様々な相談に対応するため、栗山商工会議所が設置する中小企業相談所の運営に対する費用補助を行った。同相談所では事業者向けのセミナーも例年実施しており、今年度は5月に税制改正に関する説明会を開催、11月には生成AIに関するセミナーの開催を予定している。
施策の分析 (目標達成・未達成に関する要因分析)	中小企業振興資金については、中小企業相談所及び町内金融機関との連携・協力のもと貸付を行っており、資金調達の一つの手段として町内の多くの事業者利用されている。また、中小企業相談所が開催するセミナーについても、事業者への様々なアドバイスや情報提供、研修を行う機会として有効に活用されている。
課題・問題点	中小企業振興資金については、事業者のニーズに合った制度となっているか適宜検証を行い、必要に応じて見直しについて検討していく必要がある。

今後の展開・方向性 (国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等)	中小企業振興資金の利用促進に取り組むと共に、中小企業相談所及び町内金融機関と連携し、企業の事業拡大や経営維持を支援するため、より活用しやすい制度となるよう適宜協議・検討を行っていく必要がある。
--	--

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 (担当課長)	①計画通りに進める 本制度融資の啓発を関係機関と共に行い、創業希望者に対しては、町及び中小企業相談所（栗山商工会議所）、金融機関との連携・情報共有を強め、安心して事業経営が継続できるよう支援に努めること。
2次評価 (副町長)	※評価対象外
外部評価	※評価対象外
最終評価 (町長)	※評価対象外

政策分野	004	産業	政策項目	002	商工業	施策	002	企業誘致・新産業創出の推進	担当課	商工観光課・労働グループ
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
102	積極的な企業誘致活動を実施します。							充実	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I 企業等への訪問回数（延べ）（単位：回）	4	3	3	25	35	17		567%	I 立地条件の良さや優遇措置などを企業訪問等を通じて積極的にPRし、企業誘致を促進する
成果指標	I 企業等の立地件数（単位：件）	3	2	2	0	0	0		0%	I 企業誘致件数

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	栗山町企業等誘致推進協議会が取り組む誘致活動に対する助成の他、関東・関西方面を中心としたトップセールスによる企業訪問を実施。商工会議所とも連携し、9月末時点で企業や国・道の関係機関・経済団体等への訪問を延べ17回行っている。町内への企業立地については9月末時点において実績なし。
施策の分析 (目標達成・未達成に関する要因分析)	昨年度に引き続き企業や関係機関等への訪問活動を積極的に行っている。町内への新たな企業立地については9月末時点で実績はないが、交渉中の企業も複数あり、今後も立地に向けて積極的に誘致活動に取り組んでいく。
課題・問題点	千歳市のラピダスの工場建設により、近隣自治体の誘致活動も活発化している。本町においても今年度完成予定の第5工業団地を含め空き区画についての問い合わせが複数寄せられており、交渉を継続している企業もある。また、9月末からは東名阪の企業を対象に地方への進出に関するアンケート調査を開始しており、今後も道内への新たな進出を検討している企業に関する情報収集に努め、積極的な働きかけを行っていく必要がある。

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 (担当課長)	①計画通りに進める 新たな工業団地（第5工業団地）の完成に合わせ、既存の工業団地と共にラピダス関連企業の動向を注視しつつ、国、道、金融機関等との関係機関とも連携し、進出を検討する企業についての情報収集を行い、積極的な誘致活動に取り組むこと。
2次評価 (副町長)	①計画通りに進める 一次評価結果に加え、企業誘致に向けた情報発信方法について再検討すること。
外部評価	※評価対象外
最終評価 (町長)	①計画通りに進める 二次評価のとおり。

今後の展開・方向性 (国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、重点的・優先的に取り組む施策等)	企業動向アンケート調査をもとに企業ニーズの把握に努め、道内への進出に関心を持つ企業に対し積極的な働きかけを行っていく。また、東京栗山会等の関係機関との情報共有と連携を密にし、ラピダス関連企業の動向も注視しながら、企業等誘致推進協議会を中心とした誘致活動を一層強化していく必要がある。
--	---

政策分野	004	産業	政策項目	002	商工業	施策	002	企業誘致・新産業創出の推進	担当課	建設課土木・管理グループ 商工観光課・労働グループ
番号	計画事業名							区分	事業開始年度	事業終了年度
103	工業団地の造成を実施します。							充実	令和5年度	令和12年度

	指標項目	基準値(R3)	前期(R8) 目標値	後期(R12) 目標値	年度ごとの実績値				達成率	指標設定の考え方
					令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
活動指標	I 造成区画数 (単位: 区画)	0	6	6	1	1	0		17%	I 造成・分譲する区画数を設定
成果指標	I 販売区画数 (単位: 区画)	0	1	3	0	0			0%	I 造成後、年3区画の販売を設定

【担当課評価】

項目	事業把握
主な事業実績	【建設課】工業団地内道路の新設工事を実施している。 【商工観光課】第5工業団地への進出を検討する企業との交渉を継続している。
施策の分析 (目標達成・未達成 に関する要因分析)	【建設課】特になし 【商工観光課】空き区画についての問い合わせや交渉を行っている企業はあるが、9月末時点において進出決定には至っていない。
課題・問題点	【建設課】特になし 【商工観光課】第5工業団地の道路・区画整備の年度内完了に向けて、進出に関心を持つ企業との交渉を継続し、用地売却に向けて積極的に取り組む必要がある。

今後の展開・方向性 (国・道の動向や住民ニーズ等も踏まえ、 重点的・優先的に取り組む施策等)	【建設課】早期完成に努める。  【商工観光課】ラビダス関連企業の動向を注視しつつ、9月末に調査を開始した企業動向アンケートの結果をもとに、道内への進出意欲のある企業への積極的な働きかけを行う。また、商工会議所や関係機関と連携したトップセールスによる企業訪問、PR活動にも引き続き取り組んで行く。
--	---

【総合評価】

区分	評価内容・指示事項
1次評価 (担当課長)	①計画通りに進める 【建設課】令和7年度の販売に向け、団地内道路の整備を進めること。 【商工観光課】新たな進出企業の開拓に向け、常に情報網を広げ、企業ニーズに合わせた交渉を続けること。
2次評価 (副町長)	①計画通りに進める 一次評価結果に加え、企業誘致に向けた情報発信方法について再検討すること。
外部評価	※評価対象外
最終評価 (町長)	①計画通りに進める 二次評価のとおり。